

# 平成29年度肝炎対策予算 概算要求の概要

# 平成29年度肝炎対策予算概算要求の概要

平成29年度概算要求額 179億円（平成28年度予算額 186億円 ※ 別に27年度補正予算額36億円）

## 基本的な考え方

「肝炎対策基本指針」の改定を踏まえ、肝硬変・肝がんへの移行者を減らすことを目標として、「肝炎総合対策」を推進する。

### 1. 肝炎治療促進のための環境整備

71億円（104億円）

※ 別に平成27年度補正予算額36億円

#### ○ウイルス性肝炎に係る医療の推進

・B型・C型肝炎のインターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療に係る患者の自己負担を軽減し、適切な医療の確保と受療の促進を図る。

### 2. 肝炎ウイルス検査等の促進

60億円（38億円）

#### 改 ○肝炎患者の重症化予防の推進

・保健所、市町村等における利便性に配慮した肝炎ウイルス検査体制を確保し受検を促進する。  
・肝炎ウイルス検査陽性者への受診勧奨を行うとともに、**初回精密検査の対象拡大(※1)**や**定期検査費用の助成措置の拡充(※2)**により、肝炎患者を早期治療に結びつけ、重症化の予防を図る。

具体的な  
拡充内容

※1 自治体検査以外(職域等)の陽性者も対象に追加。

※2 ①肝硬変・肝がん患者の助成回数:現行年2回 → 年4回 ②自己負担 慢性肝炎:3千円、肝硬変・肝がん6千円 → いずれも1千円

#### 新 ○職域検査への取組の促進

・検診機関や事業者等と連携し、職域での肝炎ウイルス検査に取り組む都道府県等を支援する。

### 3. 肝疾患地域連携体制の強化

6億円（6億円）

#### 改 ○肝疾患診療地域連携体制の強化

・都道府県等への助成により、都道府県と肝疾患診療連携拠点病院を中心とした関係機関の連携を強化するとともに、医療従事者や肝炎医療コーディネーター等の人材育成、肝炎患者等への治療や生活、就労の相談支援等を行い、地域における肝疾患地域連携体制の強化を図る。  
・都道府県等が行う先進的事例についてインセンティブ評価を導入し、取組の加速を図る。

#### 改 ○肝炎情報センターによる支援機能の戦略的強化

・国立国際医療センター肝炎情報センターによる肝疾患診療連携拠点病院への支援機能を強化して、地域の肝疾患医療や患者等の支援の向上を図る。  
・拠点病院が行う先進的事例についてインセンティブ評価を導入し、取組の加速を図る。

### 4. 国民に対する正しい知識の普及

2億円（1.6億円）

#### ○肝炎総合対策推進国民運動（知って、肝炎プロジェクト）による普及啓発の推進

・都道府県等や民間企業と連携した多種多様な媒体を活用した効果的な情報発信を通じ、肝炎に関する知識や肝炎ウイルス検査の必要性などをわかりやすく伝える啓発事業を展開する。

新 ○今後の施策展開に向けた検討のため、肝炎ウイルス検査等の実施状況を調査する。

### 5. 研究の推進

40億円（37億円）

・今年度、中間見直しが行われる「肝炎研究10カ年戦略」の方向性を踏まえ、B型肝炎の画期的な新規治療薬の開発や肝硬変の病態解明と新規治療法の開発等を目指した実用化研究と肝炎対策を総合的に推進するための基盤となる行政的な課題を解決するための政策研究を推進する。

### (参考) B型肝炎訴訟の給付金などの支給

572億円（572億円）

# 重症化予防事業の拡充案(初回精密検査、定期検査費用助成)

## 1 初回精密検査の助成対象拡大

これまで、特定感染症検査等事業(ウイルス性肝炎患者の重症化予防推進事業)又は健康増進事業の肝炎ウイルス検診での陽性判定者のみ助成対象としたが、職域等での肝炎ウイルス検査を受けた者も対象とする(いずれも1年以内であることは変更無し)。

想定される対象者;職域の健康診断の際、受診した肝炎ウイルス検査、又は人間ドック献血時における血液検査、等

## 2 定期検査費用の助成措置の拡充

### 【拡充内容】

- 自己負担額の引下げ (慢性肝炎:3千円 ⇒ 1千円、肝硬変・肝がん:6千円 ⇒ 1千円)  
(70歳以上の者(自己負担1割又は2割)については、助成対象外又は少額の助成しか受けられない)
- 肝硬変・肝がん患者の助成回数が増(2回 ⇒ 4回)(肝硬変、肝がん患者は頻回に定期検査を受ける必要)

所得階層	助成対象範囲					
中所得 (※)	3千円 ⇒ 1千円		6千円 ⇒ 1千円		対象外 ⇒ 1千円	
	無料					
非課税	無料					
対象回数	1回	2回	1回	2回	3回	4回
対象病態	慢性肝炎		肝硬変・肝がん			
検査項目	MRIなし		MRIあり			

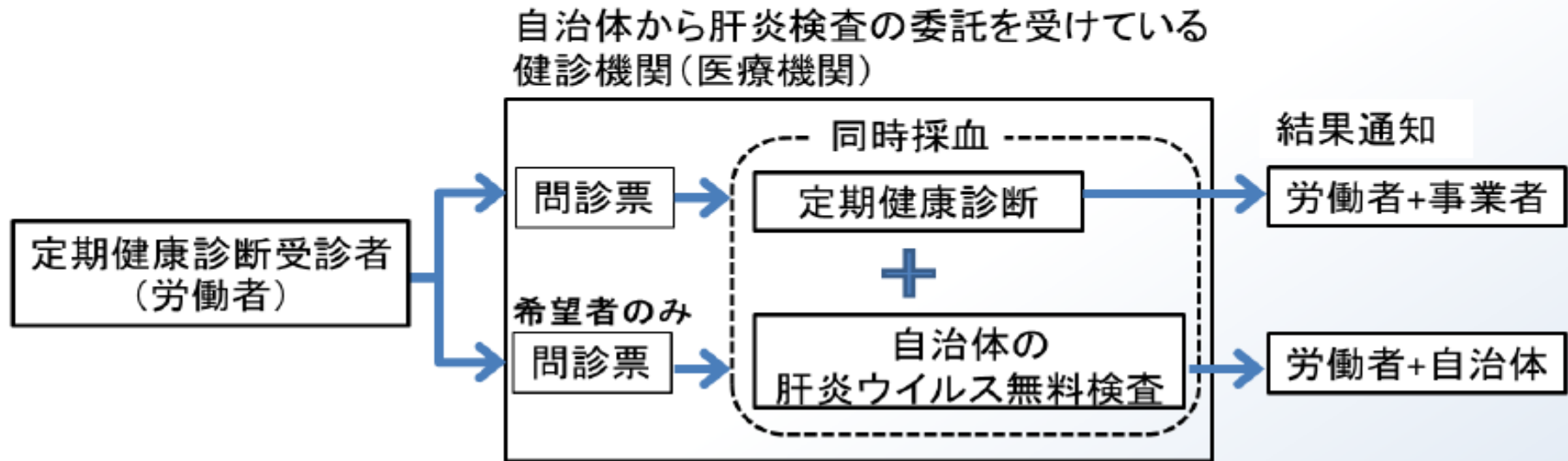
今回拡大  
 現行  
 自己負担額

※ 中所得:世帯の市町村民税課税年額235千円未満の者

職域健診において自治体での肝炎ウイルス検査が併せて受けられるモデルケース  
(厚生労働科学研究により研究中)

# 健康診断の機会に、希望する労働者が自治体による無料のウイルス検査を同時受検できる仕組みの構築について

職域検診と肝炎検診委託病院を連携出来ないか？



(参考)

# 肝炎ウイルス検査の検診機関での実施状況

## 自治体での実施状況 (平成26年度末現在)

	委託契約済の都道府県等	うち検診実績有の都道府県等
都道府県	9/47	9/47
政令市	11/20	11/20
中核市	12/51	11/51
特別区	6/23	5/23
計	38/141 (27%)	36/141 (26%)

## 自治体における主な取組例

### ①岩手県 493人 (H25)

- (1) 検診機関 公益財団法人 岩手県予防医学協会
- (2) 実施方法 当該検診機関に定期的健康診断を申し込んだ事業所等のうち、肝炎ウイルス検査の実施を希望する事業所の従業員に対し、健康診断実施時に合わせて肝炎ウイルス検査を実施。

### ②佐賀県 9,006人 (H25)

- (1) 検診機関 佐賀県医師会、総合保健協会、多久臨床検査センター、産業医学協会、唐津東松浦医師会
- (2) 実施方法 事業所の健康診断(労安法)にあわせて検診機関から勧奨を実施。

### ③さいたま市 15,672人 (H25)

- (1) 検診機関 (一社)大宮医師会、(一社)浦和医師会、(一社)さいたま市与野医師会、(一社)岩槻医師会
- (2) 実施方法 医療機関での個別検診を実施。

### ④那覇市 1,965人 (H25)

- (1) 検診機関 医療機関等97ヶ所
- (2) 実施方法 特定検診等と肝炎ウイルス検診を同日に行う同時実施と、肝炎ウイルス検診のみを行う単独実施がある。

# 肝炎患者等支援対策事業等における実施スキーム図

**厚生労働省**  
計画、指標の状況を通して進捗確認

申請  
↑  
計画書提出

**助成(1/2)**  
・肝疾患診療地域連携体制強化事業  
・肝炎対策協議会等事業

委託  
→

計画提供

提言

提言

## 肝炎情報センター

### ○肝炎情報センター戦略的強化事業

- ・肝炎対策地域ブロック戦略会議
- ・情報発信力強化戦略会議
- ・多角的普及啓発事業(肝炎マップ等)

研修等事業を助成

### ○指標、事業の効果等検証・提言

提言

都道府県毎での実施計画策定  
(評価指標の設定含む)

## 都道府県

- 肝炎対策協議会等事業
- ・肝炎患者等支援対策
- ・肝炎患者支援手帳等作成
- ・専門医療機関相談等事業
- ・地域肝炎医療治療コーディネーター養成
- ・肝炎対策協議会等開催
- ・肝炎診療従事者研修
- ・シンポジウム開催
- ・肝炎対策リーフレット等作成
- ・普及啓発事業

助成  
(強化事業分)

計画策定において調整

## 拠点病院

### ○肝疾患診療地域連携体制強化事業

- ・肝疾患相談センター事業
- ・市町村等技術支援等事業経費
- ・地域連携事業経費
- ・拠点病院等連絡協議会

### ○研修等事業(肝炎情報センターより助成)

- ・肝臓病教室開催
- ・家族支援講座開催
- ・就労モデル事業
- ・肝炎専門医療従事者研修事業
- ・一般医療従事者研修事業
- ・市民公開講座開催

# 知って、肝炎プロジェクト 大使・スペシャルサポーター



特別参与 杉 良太郎  
 特別大使 伍代 夏子  
 広報大使 徳光 和夫  
 肝炎対策大使 小室 哲哉

## スペシャルサポーター

石田 純一 SOLIDEMO  
 岩本 輝雄 高橋 みなみ  
 w-inds. 田辺 靖雄  
 上原 多香子 豊田 陽平  
 AKB48メンバー 夏川 りみ  
 EXILEメンバー 仁志 敏久  
 小橋 建太 平松 政次  
 コロケ 堀内 孝雄  
 島谷 ひとみ 的場 浩司  
 清水 宏保 山川 豊  
 瀬川 瑛子 山本 譲二



## ■ 広報動画 厚生労働省 YOUTUBE公式サイト



## ■ 大使・サポーターが首長訪問等の啓発活動を実施



※五十音順（敬称略） 平成28年7月末時点

## 【参考】平成28年度「知って、肝炎プロジェクト」の実施状況について

### 1 全体イベントの実施

○4/28 小室哲哉氏「肝炎対策大使就任式」の実施

○7/26「知って、肝炎プロジェクトミーティング2016」の開催

大使、スペシャルサポーターの任命式、小室哲哉氏制作による本プロジェクトのテーマソング発表

### 2 地方での啓発活動の推進

○佐賀県における肝炎集中広報の実施

9/17サガン鳥栖試合前における普及イベント、等 ※事前、事後での効果検証の実施

○都道府県知事、市町村長への表敬訪問の実施(10月末までに15都県、14市町村を訪問)

### 3 メディア等による啓発

○テーマソングの展開(スペシャルサポーター等、各種イベント等での活用)

○TV番組、スポーツ紙等による啓発展開(7/18 NHKラジオ肝炎啓発特番(高橋みなみ氏、伍代夏子氏、泉並木氏(武蔵野赤十字病院)出演)

○スペシャルサポーター等によるメッセージ動画の公開

○新ポスターの作成、展開(スペシャルサポーター等全員が入ったもの、等)

○ライブ会場等における啓発活動

「a-nation」(8月)やスペシャルサポーターのコンサート等での啓発

### 4 その他

○「知って、肝炎プロジェクト」名義等の活用案等について

○パートナー企業との取組強化(パートナー企業の取組発表会、等)

○メディア等露出によるPR効果測定(web調査)、等



# 知事等表敬訪問実施状況 -その1-

## 「知って、肝炎プロジェクト」知事等表敬訪問実施状況（H28年11月7日現在）

都道府県名		知事表敬訪問		市町村長表敬訪問		
		訪問実績（～H28.10）	H28実施予定（調整中含）	実施数	訪問実績（～H28.10）	H28実施予定（調整中含）
1	北海道			1	旭川市（清水宏保氏）	札幌市（調整中）
2	青森県	島谷ひとみ氏				
3	岩手県					
4	宮城県					
5	秋田県	仁志敏久氏				
6	山形県					
7	福島県					
8	茨城県	仁志敏久氏				
9	栃木県					
10	群馬県					
11	埼玉県					
12	千葉県			1	市川市（コロツケ氏）	
13	東京都	五代夏子氏				
14	神奈川県			2	川崎市（EXILE松本氏） 横浜市（杉良太郎氏）	
15	新潟県		新潟県知事（調整中）			
16	富山県	上原多香子氏				
17	石川県					
18	福井県					
19	山梨県	五代夏子氏				大月市長（調整中）
20	長野県					
21	岐阜県			1	大垣市（w-inds橘慶太氏）	
22	静岡県					
23	愛知県	AKB木崎ゆりあ氏				
24	三重県		三重県知事（11/17予定）			
25	滋賀県					

# 知事等表敬訪問実施状況 -その2-

## 「知って、肝炎プロジェクト」知事等表敬訪問実施状況(H28年11月7日現在)

都道府県名	知事表敬訪問		市町村長表敬訪問		
	訪問実績(～H28.10)	H28実施予定(調整中含)	実施数	訪問実績(～H28.10)	H28実施予定(調整中含)
26 京都府					
27 大阪府		大阪府知事(11/9予定)			大阪市長(11/9予定)
28 兵庫県					
29 奈良県					
30 和歌山県		和歌山県知事(11/9予定)			
31 鳥取県		鳥取県知事(調整中)			
32 島根県			1	出雲市(SOLIDEMO手島氏)	
33 岡山県			1	岡山市(平松政次氏)	
34 広島県	島谷ひとみ氏		1	呉市(島谷ひとみ氏)	
35 山口県			1	下関市(山本譲二氏)	
36 徳島県		徳島県知事(調整中)			
37 香川県	岩本輝男氏				
38 愛媛県	上原多香子氏				
39 高知県					
40 福岡県			3	朝倉市・筑前町、東峰村 (平松政次氏)	
41 佐賀県	高橋みなみ氏		1	武雄市(小橋建太氏)	
42 長崎県					
43 熊本県	コロツケ氏		1	熊本市(コロツケ氏)	
44 大分県					
45 宮崎県	岩本輝男氏				
46 鹿児島県	田辺靖雄氏				
47 沖縄県		沖縄県知事(調整中)			
小計	14	7		14	3

# 肝炎研究10カ年戦略

肝炎治療戦略会議取りまとめ  
(戦略期間：平成24年度～33年度)

平成28年度  
中間見直し

## ◆肝炎研究の戦略

H20年度～

肝炎研究  
7カ年戦略

【目的】 B型肝炎、C型肝炎の治療成績の向上を目指し、肝炎に関する臨床・基礎・疫学研究等を推進する。

H24年度～

肝炎研究  
10カ年戦略

・B型肝炎創薬実用化研究を追記  
・抗ウイルス療法に係る新規知見の追記、修正

H28年度

中間見直し  
(案)

・インターフェロンフリー治療の登場等  
・戦略目標（研究成果目標、治療成績目標）の追記、修正  
・改正した肝炎対策基本指針を反映

## 【中間見直し案】

### 戦略目標（H33年度まで）

#### 《研究成果目標》 ※研究内容自体のアウトプット（新設）

臨床研究	B型肝炎：ウイルス排除を可能とする治療薬・治療法を開発し、臨床試験・臨床応用につなげる C型肝炎：薬剤耐性ウイルスに効果のある治療薬・治療法を開発し、臨床試験・臨床応用につなげる 肝硬変：線維化の改善に資する治療薬・治療法を開発し、臨床試験・臨床応用につなげる 肝がん：肝発がん、再発を予防する治療薬・治療法や予知する検査法・診断法を開発し、臨床試験・臨床応用につなげる
基礎研究	各領域で基礎研究を推進し、臨床応用に資する成果を獲得する
疫学研究	肝炎総合対策に係る施策の企画、立案に資する基礎データを獲得する
行政研究	肝炎総合対策の推進に資する成果を獲得する

#### 《治療成績目標》 ※研究成果等を踏まえたアウトカム（現状を踏まえた見直し）

(1)抗ウイルス療法による5年後のB型肝炎のHBs抗原陰性化率	約6%→約8%
(2)C型慢性肝炎、代償性肝硬変におけるSVR率	約90%以上→約95～100%
(3)非代償性肝硬変(Child-Pugh C)における50%生存期間	約18ヶ月→約24ヶ月
(4)肝硬変からの肝発がん率	B型肝炎硬変 約3%→約2%    C型肝炎硬変 約5～8%→約3～5%

